

令和4年度 島根県のIT産業支援施策について

令和4年3月18日
島根県商工労働部産業振興課
情報産業振興室

Ⅰ T産業の位置づけ

★島根創生計画（R2～）

- －人口減少に打ち勝つための総合戦略
- －力強い地域産業づくり
- －IT産業の振興

【施策の方向性】

県外市場から多くの売上を獲得し、若年層の雇用を創出する産業として
持続的な発展を目指し、人材育成・確保、高付加価値な業態への転換を支援

★K P Ⅰ

- ・ソフト系ⅠT産業の県内従事者数
- ・ソフト系ⅠT産業の売上高

令和4年度のIT産業振興事業

(R3年度)	(R4年度)	(増減)
290,577千円	282,213千円	▲8,364千円

※主な増減理由

- ・しまねソフト研究開発センター（ITOC）の事務所移転に伴う維持管理費の減
（R4年2月にくにびきメッセからテクノアークへ移転）
- ・施策費は一部見直しにより2百万円余を増額

令和4年度 IT産業振興事業の概要

1. 人材育成・確保

1) 小学生Ruby教室 3,643千円

- ・小学生のプログラミング体験会
- ・夏休みに県内6会場で開催（奥出雲、出雲、雲南、浜田、益田、大田）

2) IT人材育成事業（大学・高校等） 39,000千円

- ・島根大学「システム創成プロジェクト」（知能情報デザイン学科2・3年生の必修科目）
- ・専門系高校でのIT企業連携授業（情報科学、松江商業、松江工業【新】、出雲商業、隠岐、松江工業【新】、出雲商業、隠岐）
- ・松江高専、出雲コアカレッジ
- ・バスツアー等による交流機会の提供

3) 県外学生と県内IT企業との交流機会の提供 8,100千円

- ・県内出身学生や県外大学のゼミ等を対象に、県内IT企業・エンジニアと直接交流できるイベントを開催

4) Ruby合宿 7,140千円

- ・学生等を対象とした4泊5日のRuby講座

（「1. 人材育成・確保」のつづき）

5) IT人材育成事業（IT技術者向け） 9,065千円（情報産業振興室の事務経費を含む額）

- ・ IT技術者向けの実践的な講座開催
- ・ 情報産業協会実施（運営費補助）

6) 新規事業プロデューサー養成講座 4,250千円

- ・ ビジネス領域でのスキルを兼ね備えたIT人材の育成講座
（県内産業デジタル化施策と合同での開催を予定）

7) UIターン転職サービス「IT WORKS@島根」 44,934千円 ⇒別途説明

- ・ 求人情報の提供から移住サポートまでワンストップサービスを提供
（IT人材確保促進支援補助金【終了】⇒IT人材移住促進補助金【新規】
※求人活動費支援を終了し、入社支度金等を支援）

2. 企業の技術力・商品力の強化

1) しまねソフト研究開発センター（ITOC）の運営 137,073千円 ⇒別途説明

- ・ 機械学習の人材育成・共同研究
- ・ IoT向けプログラミング言語「mruby/c」の機能開発・事業化支援、共同研究
- ・ しまねの産業と県内IT企業を結びつけ、新ビジネスを創出を目指す「X-Techラボ」
- ・ 新事業創出支援（IT活用サービス創出シード支援助成金）
- ・ 販路拡大支援（開発ソフトウェア・サービス販路拡大支援助成金）
- ・ データ活用ビジネス創出支援（データ活用型自社サービス創出支援助成金）
- ・ 受託開発競争力強化支援
- ・ その他、先進技術・人材育成セミナーの開催、個別相談対応

※新ビジネスモデル構築支援事業補助金（中央会実施）を終了し、ITOCの新ビジネス創出支援施策へ統合

（「2. 企業の技術力・商品力の強化」の続き）

2) Ruby biz グランプリ開催支援事業 18,808千円

- ・ Rubyブランドの認知度向上を目的に、Rubyを活用した新たなサービスを国内外で展開する企業を表彰
- ・ 県内IT企業との交流・ネットワーク強化を図るため、表彰式を松江開催（但し、R2・3年度は新型コロナによりオンライン開催）

3) Ruby技術会議開催支援事業 8,000千円

- ・ Rubyコミュニティの強化・拡大と、ビジネス機会の拡大を目的に、RubyWorld Conferenceの開催を支援

合計282,213千円

【参考】R4年度しまねデジタルイノベーション推進事業

コロナ禍の影響により経済情勢の先行きが見通せない中、県内産業の競争力強化を図るため、しまねソフト研究開発センターと関係機関が県内中小企業のデジタル化を支援

事業概要

（１）デジタルイノベーション推進に向けた伴走支援 （R4当初）

県内中小企業が行うデジタル技術を活用した新サービスの開発や生産性の向上、売上拡大などの競争力強化に向けた取組を支援

- ・ デジタル活用の普及や社内人材の育成を目的としたセミナーや勉強会の開催
- ・ 専門家派遣、IT相談会開催、各種補助金の活用支援 など

（実施団体：しまねソフト研究開発センター・中小企業団体中央会）

（２）デジタル技術の体験・実証・イベント、企画展示の開催 （R3.2補正・繰越）

先進技術を体感し県内企業のデジタル化への機運を高めるイベント・展示等を実施

（３）ビジネスプラン育成 （R4当初）

アイデア創出の場の提供やビジネスプランの育成を支援

（４）デジタル導入補助金 （R3.2補正・繰越）

- ・ デジタル導入実証支援補助金

新サービス開発や生産性向上等を目的とした導入プランを実証する取組を補助

補助率 1 / 2、上限 5 0 0 万円

- ・ デジタル導入加速化補助金

IT専門家の助言を条件にデジタルツール等を導入した場合に補助

補助率 1 / 2 （県内企業による助言経費は 2 / 3）、上限 3 0 0 万円